

# いしずえ

2018年6月  
新年度号  
発行: 社会福祉法人  
バプテストめぐみ会  
理事長: 上田 正紀

75

## CONTENTS

巻頭言	1	北白川いずみ保育園便り	5
2018年度 事業計画書	2~3	バプテスト・ホーム便り	6
創立記念式典	4	新人職員紹介、寄付金のご報告、編集後記	8

## 巻頭言

### 「基本報酬」と「加算（上乘せ分）」

理事長 上田 正紀



介護報酬3年ごと改定、診療報酬は2年ごと改定ですが、今回は、6年に一度の診療・介護報酬の同時改定が実施されました。今回の改定では、介護報酬は全体で0.54%の微増という結果でした。

介護報酬には、事業所形態ごとに決められている基本的な単位である「基本報酬」と単位を上乘せする「加算」の二つになっています。介護報酬の改定では、基本報酬が「引き上げ」または「引き下げ」になるケースと加算が「新設」「強化」されるケースがあります。今回の改定は、加算の「新設」「強化」が目立ったように思います。事業所としては、加算の、取得に伴う費用増、特に人件費が増えるので収支としては、必ずしもプラスにはなりません。

団塊の世代の高齢化に伴い、今後は75歳以上の高齢者の割合が急速に高まります。医療・介護ニーズの激増は必至です。どのように費用の膨張を抑えつつ、必要なサービスを確実に提供できるのか、社会保障の安定にとって最大の問題です。今後はあらゆる分野で「聖域なき構造改革」が必要になるかもしれません。

「蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい」

(聖書 マタイによる福音書 10章16節)

相手を力づくで屈服させるのではなく、その痛みや弱さを理解し、愛と信頼をもって接することがキリスト教主義の道です。



# 2018年度 事業計画書 (抜粋)

## まえがき

バプテスト・ホーム開設34周年で初めての大改修工事が2017年3月に完成し、昨年度は、新生バプテストめぐみ会として、15年先の将来計画への出発点に位置づけてキリスト教主義の基本理念の基、安心・安全第一とコンプライアンス（法令遵守）を大原則として、法人経営を実行しました。今年も原則は変わりません。

今年度4月は、6年に一度の診療・介護報酬の同時改定、次期医療計画スタート等の重要な局面を向かえます。介護保険は、2000年度4月に始まり、初年度の介護保険費は、3.6兆円でしたが、その後高齢化が進み、介護を必要とする人が急増し、2016年度には10.6兆円と16年間に約3倍に増加しました。団塊の世代が全て75歳以上になる、2025年には、介護保険費用は現在の約2倍の21兆円に達すると言われています。

2025年問題（介護職員の絶対不足、医療・介護費用の増加等）を前に社会保障費（医療・介護・年金）を世界に類をみない、少子・高齢化の下で維持するには思い切った改革が必要となります。

現在の介護現場の最重要課題は、介護職人材の不足です。厚生省の推計によると、2025年には約38万人の介護職が不足するという恐ろしい数字が出ています。介護人材不足の問題には、次の3つの大きな理由があります。社会全体の労働人口が減少し、労働市場が売り手優位になっている。（特に介護は「超売り手市場」）労働者が働きやすさを重要視し、向上心や人のためになる大切さ等の志が少なくなっている。それに、志の高くはない応募者でも一人前の専門職として活躍できる教育体制を現場で整備できていない。

「ふくしの仕事」は、「人」が「人」にかかわる仕事です。人間のいとよみの本質に寄り添うなかに、思いやる心、感謝、感動、共感があり、人間としての成長とやりがいを持てる仕事です。そして支援を必要とする人々に向かい合い、支えながら福祉課題、生活問題を解決していくには、厳しい現実問題に取り組んでいく強い意志と責任感、専門性が重要です。

このような時代の流れに適応して人材育成・組織づくりが重要になってきます。

一方、保育園においては、認定子供園・小規模保育園等の増加により園児の獲得競争も厳しくなってくるのが予測されます。と同時に保育士の人材確保を計画的に進める必要があります。運営管理の面では、就業規則・給与規定等の諸規則を社会福祉法人めぐみ会として高齢者福祉総合施設と統一化を法人事務局で、検討することが必要になります。

高齢者福祉総合施設は「冬の時代」の中で、児童福祉施設も厳しい不透明な状況下でも、基本理念のキリスト教主義及び経営方針（1から6、具体的には1から3の実行）を不変とし、変革時代にしっかり対応できる経営基盤の強化を図り、提供するサービスの質の向上を図ると同時に地域社会のニーズに対するサービスを提供できる社会福祉法人経営を実行します。

## 社会福祉法人 バプテストめぐみ会 理念

わたしたちは、イエス・キリストの愛の実現を願って高齢者福祉に取り組みます。

- 一、利用される方々の尊厳を守り、人権を尊重し畏敬の念をもって福祉サービスの向上に努めます。
- 一、利用される方々に寄り添いその人らしい人生の実現を求めて、共に生きることを日々目指します。
- 一、地域と連携して高齢者とそのご家族の生活を支え、社会から信頼される福祉の拠点となるように努めます。

設立標語聖句

「夕暮れになっても、光がある」(ゼガリヤ書 14章7節)

接遇標語聖句

「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」(ローマ人への手紙 12章15節)

## 社会福祉法人 バプテストめぐみ会 経営方針

1. 地域の福祉施設として、十分なサービスを積極的に提供し、地域福祉の充実発展に貢献する。
2. 職員の資質向上を図り（職員研修の促進）提供するサービスの質の向上に努める。
3. 「報告」「連絡」と「相談」（ホウレンソウ）を実行し働きがいのある職場を実現する。
4. 健全かつ活力のある継続した事業経営のために財務基盤の安定を図る。
5. 行政・福祉施設・医療施設との連携、協力を強化し、高齢者福祉の充実発展に寄与する。
6. 情報を公開し、透明性の高い公平・公正な法人経営を目指す。

## 特別養護老人ホーム バプテスト・ホーム 運営方針

団塊の世代が75才になる2025年を目途に、重介護であっても地域で暮らし続けていくための地域包括ケアが掲げられています。

地域に根差した施設であることを目指し、地域の一員として「認知症であっても最期まで自分らしく暮らしていくための支援、高齢者の最期まで口から食べたいと思う欲求に応えていくための支援」、この2つを柱に施設運営を行っていきます。

## I バプテストめぐみ会 長期計画

1. 高齢者福祉総合事業  
特別養護老人ホーム 創立50周年（2033年）全面建て替えを目指す。  
介護保険制度の動向を見極め、地域福祉サービスの充実・新たな事業展開を行う。
2. 北白川いずみ保育園  
特別養護老人ホームと同時期の建て替えを目標に検討し、資金の積み立てを行う。  
定員以上の園児在籍を保ち、保育のための優秀な人員を揃える。

## II バプテストめぐみ会 中期計画（2～3年間）

1. 高齢者福祉総合事業
  - ・2016年度バプテスト・ホーム改修工事が無事完了し、長期計画を実現するために、人事及び財務の経営管理の再構築を行う。
  - ・バプテスト・ホーム北館 3階の有効利用を全職員で慎重に検討し実行する。
  - ・きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証制度取得に向け、キャリアパス・人事考課制度の導入を行い人材育成・研修体制の強化を図り新しい組織管理体制の構築を行う。
  - ・介護保険制度の動向を見据えながら、介護予防総合事業に対応すべく新たな事業展開の検討を行う。
  - また、地域福祉サービス充実のため、地域密着型サービスの事業展開を視野に入れる。
2. 北白川いずみ保育園  
開設から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。園児の安全のために計画的に修繕を行っていく。特に水遊びの安全について検討する。  
長期計画を実現するために建築資金を積み立てる。  
人材の確保や育成に努め、働き続ける意欲の持てる職場環境を目指す。  
少子化の進む中、保護者から選ばれる保育園となるように今まで培ってきた保育や食育を発信する。

### Ⅲ 2018年度計画

#### 高齢者福祉事業

##### 【特別養護老人ホーム】

1. 利用率向上  
ショートステイ利用者登録を増やし、空床発生時の利用につなげる。  
特養優先入所待機者を常に3～5名確保し、退所後1週間以内の入所を行う。
2. 生活環境の整備・労働環境の改善  
利用者が快適に過ごせるための調度品及び日常使用品の見直しと、清潔な空間を保つための衛生用品の導入及び見直しを行う。  
介護職員への経験・資格・能力に応じた適正な評価が行える仕組みづくりと実施。
3. 入所者生活の質向上  
利用者が望む生活の実現へ向けての取組。  
認知症であっても自分らしく過ごすため、生活を支えるケアを実践。  
最期まで口から食べることが出来るための取組。  
施設内で孤独死しないための看取り介護への取組。
4. 新たな食事提供サービスの準備  
バプテスト・ホーム厨房をセントラルキッチン化し、各事業所への食事提供が可能となる運営方法及び厨房図面・設備の検討を行う。
5. 情報発信  
施設での取組、利用者の生活の様子、職員についてなど広報誌を用い知らせていく。  
就職活動者向けのパンフレットを作成し、施設に対しての興味を引く。

##### 【在宅事業】

1. 短期入所生活介護  
利用登録者数を増やし、キャンセル発生時の即対応につなげ、空床を作らない。  
営業・広報活動を積極的に行い、顧客拡大を図る。具体的な目標件数を掲げ課する。  
利用者アンケートを実施し、ニーズに合ったサービス提供を行いリピーター増を目指す。  
お客様を出来るだけ待たさない努力、予約受付から決定連絡までの期間短縮、緊急ショート依頼時の迅速な対応。  
自社送迎の実現。

#### 2. 通所介護

##### （基本目標）

2018年度の介護報酬改定は2025年に向けて医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築の実現を軸に、大幅な変化が求められる。中重度の要介護者や認知症高齢者を積極的に受入れ、利用者や介護者の想いを支えていく為、本人や家族の生活に合わせた送迎時間の設定や利用曜日の振替など、個別に柔軟に対応することが出来るデイサービス作りを更に努める。

また介護人材確保の為、全職員の質の向上及び働きやすい職場環境作りを目指す。

レスパイト機能だけでなく、利用者の持っている機能を十分に発揮できるように自立支援に向けた個別機能訓練を実施し、家族・地域社会の一員としての生活を過ごして頂けるよう支援する。

##### （重点目標）

- ① より多くの地域住民の方に利用頂けるよう居宅介護支援事業所等に定期的に空き状況を案内し、月平均利用稼働率90%を獲得し安定した運営を行う。
- ② 利用者・家族が望む生活の一機能として信頼されるデイサービスを目指すため、利用者アンケートを実施しニーズ把握、分析を行いサービスの改善を図る。
- ③ 個別機能訓練加算Ⅱの内容充実を図り、利用者の望む生活へと返していく。
- ④ 外部研修の他、各デイサービスで開催するセンター内研修や3デイサービス共通の実践研修の年間計画を立て実施し法人に定着した人材育成を行う。
- ⑤ 各デイサービスの特色は活かしつつ、記録様式電子化等の法人内共通の内容に法人施設統一ですすめ、作業効率の向上を図る。

#### 3. 訪問介護

これまで法人本部に事務所を構えていたが、30年度より高野拠点に事務所を移転することで、法人内他事業部門と他法人居宅介護支援事業所等と速やかに連携が図れ、利用者が安心安全な生活が送れるように支援する。また近隣に複数の地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所があり、渉外活動として1ヶ月に一回以上は居宅介護支援事業所等を訪問し、空き情報は2週間毎に発信する事で新規利用者を獲得し、ヘルパーの稼働率も80%を目指す。訪問介護事業のみならず、障害者自立支援事業サービスについても積極的に受け入れ、収支の安定化を図る。

外部研修の他、所内勉強会やミーティングにおいてニーズの把握や課題の解決方法について、一人ひとりが気づき、考え、行動に移せ、質の高い介護サービスの提供に努める。

#### 4. 居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所として利用者の生活全般を支援する観点から、

介護保険制度だけでなく、高齢者施策。障害者施策の併用などにより総合的なサービス利用による利用者の自立支援の視点を心がけ、介護ケアプラン件数一人平均37件を確保・維持する。

法令順守し、利用者やご家族、関係機関から信頼される介護支援専門員であるため、職員の年間研修計画を遂行し、また定期的な会議において処遇困難事例等を振り返り、支援方法や業務の改善点の意見交換・情報共有を行い、職員の資質向上を図る。

特定事業所として地域包括支援センター等と連携し、困難事例の対応や地域ケア会議への出席、認知症サポーター養成講座等への積極的な協力をし、高齢者が住みやすい地域づくりに貢献していく。

粟田拠点へ新たな居宅介護支援事業所の開設を行う。

#### 5. 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、地域支援事業を軸に地域包括ケアシステムの構築を行います。それぞれの地域課題を把握しながら各関係機関と連携を図っていく。

#### 【法人本部】

1. 基本理念の徹底
  - 基本的精神（基本理念）であるキリスト教主義施設としての確立を目指す。
  - 基本理念の理解を深めるため、職員に対し牧師による研修会・集会を実施する。
  - キリスト教活動委員会主催でクリスマス礼拝及び祝会、イースター礼拝等を開催する。
  - 各部署への朝礼時の理念の唱和及び理念の確認
  - ホーム入所者への礼拝
2. 人材育成内部・外部・法人内研修・新人教育の徹底
  - 職員ひとり一人に合わせた研修計画を立案し、研修に参加させることでモチベーション・スキルアップの充実を図る。
  - 外部からの情報に敏感となり、職員への情報提供や研修を実施し人材育成を行う。
  - 「きょうと福祉人材育成認証制度」上位認証取得を目指す。
3. 人材確保
  - ホームページ・広報誌・パンフレットの作成及び充実を行い、各校へ訪問し広報活動を充実させる。
  - 各種実習生の受け入れを充実させ早期人材確保を目指す。
  - 介護保険施設を取り巻く厳しい経営環境の中で、介護従事者の求人難を解決し、多種多様な募集方法を検討し人材確保に努める。
4. 人事考課
  - 職務に関する業務成績及び能力・意欲を定期的に継続実施し、これに基づき昇給・昇格・賞与及び配置、指導の適正化を図り、人事管理の公正且つ運営を促進して経営効率向上を目指す。
5. 財務
  - 経理規程に基づき、経理体制を整備し帳票の作成・適正な処理を行うように努める。
  - 介護保険制度に基づき、加算取得に向け積極的に取り組み正確に請求する。
  - 介護報酬収入を主要財源とする運営及び諸経費の節減に努め効率的な法人運営を行う。
  - 各事業所の経営分析を行い、独立採算化の為の運営方法を検討する。
6. 労務
  - 法令に基づき就業規則等の整備を行い、職員の処遇を適正に行う。
  - 2015年度12月より労働安全衛生法改正により従業員50人以上の企業に対しストレスチェックが義務付けられたことから、産業医と担当看護師が連携を図りながら適切に遂行する。
  - ハラスメント（セクハラ・パワハラ等）のない組織運営を行う。
7. サービスの質の向上
  - 利用者各自の状況を的確に把握し、家族・職員・地域の方々と一緒に利用者様が日常生活において安心して暮らせる事業展開を行う。
  - 介護保険制度が定める施設・事業所の運営体制を整備し、利用者ニーズに応えられるサービスを展開する。
  - 第三者評価・外部からの受け入れを行い、情報開示をすることで組織の透明化を図りよりよい介護サービスの提供に努める。

#### バプテストめぐみ会 役員・評議員（2018年6月1日）

理事		評議員	
理事長	上田 正紀	評議員	平田 哲
理事	瀬戸 達雄	評議員	津舟 光子
理事	矢島 直子	評議員	木村 明祐
理事	藤井 里美	評議員	才藤千津子
理事	李 海勲	評議員	船本 智睦
理事	叶 信治	評議員	山下 禎雄
		評議員	溝渕 美音
監事			
監事	南 寛		
監事	藤井 茂		



# 創立記念式典

4月2日（月）、バプテスト・ホーム3階会議室にて創立35周年記念式典が執り行われました。  
初めに李牧師から「共にいる」というメッセージをいただきました。  
その後、参列者一同による聖歌の合唱や永年勤続表彰などが続きました。  
最後に理事長より、職員一丸となって法人を盛り立てていって欲しい旨を話されました。

バプテスト・ホーム 井後史朗



# 北白川いずみ保育園便り

園長 矢島直子



今年度は、4月に0才児、1才児、2才児、3才児の13人、5月に0才児の2人の新入園児を迎えて、98人で保育をしています。朝のお別れやお昼寝の前には泣き声が響いていた新学期ですが、みんな保育園や担任の先生も覚えて安心して一日を過ごせるようになりました。お庭では泥だんごづくりや鬼ごっこ、年長クラスのキャベツさんの竹馬の練習がさかんにされています。

例年7月に行っていたお泊り保育ですが、今年は初めて八瀬の野外保育センターで6月の8、9日に出かけます。ケーブルカーやロープウェイに乗って比叡山でお弁当を食べてから野外保育センターへ行きます。遠足でなじみのある場所ですが夕ご飯を作ったりみんなでお風呂に入ったりキャンプファイヤーをしたり楽しい計画がいっぱいです。元気にいろんな心に残る経験ができるようみんなに応援しています。



# バプテスト・ホーム便り

## お花見とドライブ

今年の桜はとても早く満開になり、雨で散ることもなく目を楽しませてくれました。さて、バプテスト・ホームや各デイサービスセンターでもお花見を企画してご利用者さん達と一緒に桜を楽しんできました。

バプテスト・ホームでは駐車場に綺麗なしだれ桜が咲き誇っていたので、その近くでコーヒーとおやつをいただきました。

そしてデイサービスでは送迎車にてドライブにでかけました。

平安神宮や冷泉通り、川端通りは定番のお花見スポット。またデイサービスセンターの近くの公園の桜も満開で楽しいお花見ドライブとなりました。

バプテスト・ホーム、各デイサービス介護職員一同





## 新人職員紹介



**中村寿美子**

バプテスト・ホーム  
特養

4月下旬より、  
バプテスト・

ホームの生活相談員として入職し、  
1ヶ月以上が過ぎました。  
日々、学ぶ事や覚える事がまだまだ  
沢山ありますが、早く成長出来るよ  
う努めていきたいと思ひます。  
どうぞよろしくお願いいたしします。



**竹田 恵**

バプテスト・ホーム  
施設介護

平成30年3月よ  
り2棟にて勤務

しています。これから多くの事を学  
び、ご利用者様一人ひとりにより良  
い介護サービスを提供出来る様、明  
るく元気にベストを尽くしていきた  
いと思ひます。  
今後ともよろしくお願いいたしします。



**福井 紫乃**

バプテスト・ホーム  
施設介護

5月よりお世話に  
なっている福井

紫乃です。  
世間では猫派が犬派を上回ったよう  
ですが、私は断然鳥派です。  
ポタン、コザクラインコ達と暮らし  
ています。  
鳥派の方、声をかけてください。



**福田美千恵**

修学院地域包括支援  
センター

今年の4月より、  
修学院包括の事務

として働かせていただいております。  
私にとって初めての業界で、まだまだ  
右も左もわからない状態ですが  
職場の皆さんにご指導いただきながら、  
少しずつ成長していければと思  
っております。  
どうぞよろしくお願いいたしします。



**池田 里美**

高野デイサービス  
センター

4月から高野デイ  
サービスの相談員

として加えていただきました。  
左京にはあまり来る機会がありません  
でした。京都の美しさを再認識してい  
ます。  
一日でも早く業務に慣れ利用者様が  
気軽にお話できるような相談員を目  
指し、笑顔で頑張りたいと思ひます。  
よろしくお願いいたしします。



**野津 真弓**

高野デイサービス  
センター

3月より介護職員  
として入職いた

しました野津真弓と申します。  
歌う事が好きなので、一人でも多く  
のご利用者様が歌う事で楽しく笑顔  
になっていただける様に努力してま  
いります。  
よろしくお願ひいたしします。



**馬淵みどり**

高野デイサービス  
センター

私は、4月より高  
野デイサービス

でお世話になっています。  
前職は大学生協に勤務しておりました。  
趣味はバドミントン。  
ご利用者様、先輩職員の皆様に支  
えていただきながら持ち前の明るさ  
とガッツで頑張っていきます!!



**板倉 綾子**

高野地域包括  
支援センター

新米社会福祉士  
の板倉綾子と申

します。地域の取り組みが盛んな左  
京区で働ける事を嬉しく思っています。  
地域に触れ、高野らしさを発揮  
出来る社会福祉士になれるよう頑張  
ります。今後ともよろしくお願いいた  
しします。



**渡邊 範子**

粟田デイサービス  
センター

はじめまして、  
介護福祉士の渡

邊です。  
ご利用者様との対話を大切に、と努  
めております。  
東山ならではのお話もとても興味深  
いです。  
楽しい一日をお過ごしいただける様  
に頑張ります。



**梅井 智子**

粟田デイサービス  
センター

はじめまして、  
この度、粟田デ

イサービスの看護師としてまいりま  
した梅井智子です。  
私はいつも明るく笑うことが大好き  
です。利用者様に楽しい時間を過ご  
してもらえるように“楽しいパワー”  
をいっぱい振り巻いていきたいと思  
ひますので、どうぞよろしくお願い  
いたしします。



**佐藤 早苗**

粟田デイサービス  
センター

はじめまして佐  
藤早苗と申しま

す。8年前に静岡から引っ越して来  
ました。  
桜が好きで毎年あちこちに行きます。  
今年は勤修寺に行ってきました。  
もし良かったら、おすすめの桜の名  
所を教えてください。  
これからよろしくお願いいたしします。

### 寄付金のご報告 (2018年1月1日～2018年3月31日)

ご支援、ご協力を賜り、ありがとうございます。感謝いたします。

※確定申告を行うことで、当法人へ寄付をされた個人は寄付金控除の対象となり、法人は損金算入がで  
きます。確定申告には領収書が必要となりますので大切に保存してください。

#### 【団体等】

日本バプテスト小倉キリスト教会、宗教法人平尾バプテスト教会、川崎バプテスト教会、同志社中学校・高  
等学校 宗教部、日本キリスト教団 京都丸太町教会、宗教法人日本基督教団 京都復興教会、大泉バプテス  
ト教会、東京北キリスト教会、奈良キリスト教会

(順不同、敬称略)



#### 編集後記

いしずえ75号をお届けします。今年度は制度改定があり社会福祉法人にとって大き  
な変化の始まりになりました。

職員一同、力を合わせてこれからの法人を盛り立てていきたいと思ひます。

(バプテスト・ホーム 井後史朗)